

大規模災害支援協力連絡会（大隅ブロック）議事録

場 所：大隅地域振興局 本館 3F 中会議室

期 日：平成28年6月14日（火） 14：00～

参加者：大隅地域振興局

池端建設部長、下迫田土木建築課長、松元河川港湾課長、森元技術補佐、内徳技術補佐
栗野技術補佐兼河川砂防第二係長、土岐技術補佐兼河川砂防第一係長
濱田技術主幹兼技術調整係長、竹下技術主査、平原参事、新窪技術主幹、本後技術主幹
北菌参事、福永技術主幹

協 会

安永会長

連絡責任者（正）錦城測量設計 岩満、海江田

連絡責任者（副）コバルト技建 小路口、山下

コスモコンサルツ 神田、立花コンサルト 立花、江口測量設計 江口、丸建技術 新原

ありあけ測量設計 山之上、池田コンサルト 田上、大進 笹森、九州テクノロジー 仮屋園

大和測量設計 絹田、共進測量設計 丸野、大翔 倉、イリ技建コンサルト 奥

議事録

1. 挨拶

あいさつ。（池端建設部長、安永会長）

2. 連絡会内容

(1) 協定書及び連絡体制について（県）

- ・協定書の内容確認。（森元技術補佐）

(2) 協会資料について（協会）

- ・支援協力の内容説明。（安永会長）

3. 意見交換

- ・県側としては、調査の作業範囲（協定内）を周知徹底しないといけない。（池端建設部長）
- ・他県では、協定外の作業も要求されるケースもあるので、あくまでも社会貢献活動の一環という認識を持っていていただきたい。（安永会長）
- ・大規模災害（県内全域等）が起こった際に、県内業者だけでは対応が出来ないと思われる。そのため、県外からの協力を得るためには、旅費交通費等も考慮したほうが良いのではないか。（小路口理事）
- ・実際、静岡県では大規模災害が起こった場合は、かかった分の経費を考慮するとのこと。（安永会長）
- ・鹿児島県では、県外の協力を得るほどの大規模災害を想定していないのが現実である。（池端建設部長）
- ・長崎県で運用されている、災害位置を携帯端末より写真及び位置情報を集約し、閲覧出来るシステムを鹿児島県にも提案しています。（安永会長）
- ・河川管理道について、草木等により通行困難箇所等があるため、堤体の状況等が確認できない。そのような箇所等の管理は、どのように考えていますか。（小路口理事）
- ・決められた予算の中で管理しているため、重要度の高い箇所から着手はしています。しかし、毎年のように草木等は繁殖するため、管理河川全体に着手することは難しいです。（松元河川港湾課長）

